

平成 30 年 6 月 29 日

各 位

九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門  
農業生物科学講座 農業生産生態学分野  
准教授候補者選考委員会  
委員長 熊丸敏博

九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門  
農業生物科学講座 農業生産生態学分野  
准教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座 農業生産生態学分野准教授候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

准教授・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する准教授は、大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 資源生物科学専攻 農業生物科学教育コース担当教員となります。農業生物科学講座は、植物育種学分野、作物学分野、植物生産生理学分野、植物病理学分野、園芸学分野、動物学分野、昆虫ゲノム科学分野、昆虫学分野、天敵微生物学分野、天敵昆虫学分野、生物保護管理学分野、農業生産生態学分野、昆虫産業創生学分野、衛生昆虫学分野、植物光生理学分野の 15 研究分野からなります。

当該講座は資源生物科学部門の中で、農作物を中心とした農業生物資源の安定供給、革新的生産技術、保護管理、有効利用、および持続的圃場管理等に必要な植物、動物、昆虫、微生物、生物環境等に関する研究を担当し、高生産性・高品質な農作物の開発、分子育種、植物防疫、天敵・病害虫管理、昆虫工場、並びに農業生態系の維持に関する先端知識と技術の確立を目指して教育研究を推進しています。

当該講座の目標を実現するに当たっては、農業生物資源の持続的安定供給法の確立や生物資源の保護管理が重要です。特に、農業生産生態学分野では、農学部附属農場の圃場・施設において作物の生理、生態を解析し、環境と調和した持続的作物栽培に関する教育研究が不可欠です。そのなかでも

- 1) 園芸作物の種・品種の成立に関する教育研究
- 2) 園芸作物の導入と育種に関する教育研究
- 3) 園芸作物生産技術の改良と普及に関する教育研究

などの領域における先進的教育研究を推進しうるとともに、平成32年度に予定されている附属農場の伊都キャンパスへの移転を円滑に進め、先進的研究農場を構築して当該部門および当該講座における生物資源に関わる安定供給や革新的生産技術の開発と生物資源の保全利用に関する教育研究の推進に貢献できる方を求めています。

### 3. 採用予定時期

教授会承認後可能な限り早い時期

### 4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記の領域1)～3)において優れた業績と該博な知識を有し、大学院及び学部の教育研究に熱意を持って取り組む方

### 5. 担当授業科目

#### (1) 大学院

修士課程：

(資源生物科学専攻農業生物科学教育コース)

植物生産科学特論、作物資源生態学特論、農業生物科学演習第一、同第二、農業生物科学特別研究第一、同第二など

(国際コース)

特別演習Ⅰ、同Ⅱ、修士論文研究Ⅰ、同Ⅱなど

博士後期課程：

(資源生物科学専攻農業生物科学教育コース)

農業生物科学特別実験、農業生物科学特別講究、農業生物科学特別演習など

#### (2) 学部

農場実習、農場実習Ⅰ、農場実習Ⅱ、農場実習Ⅲ、農場実習Ⅳ、農場実習Ⅴなど

(担当可能な基幹教育科目)

体験的農業生産学入門など

(国際コース)

Fieldwork on Bioresource and Bioenvironment 1

なお、英語による授業および研究指導も担当して頂きます。

## 6. 提出書類

### (1) 略歴書

### (2) 業績目録（新しい順に記載）

I. 原著論文：著者名（本人の氏名に下線を、本人が責任著者の場合は\*を記すこと）、  
題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年の順、(i)査読付き雑誌、(ii)査読なし雑誌、  
(iii) 国際学会プロシーディングス、(iv) その他で区分すること

II. 著書：著者名、題名、発行所、頁、発行年

III. 総説、解説等：著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年

IV. 特許・品種登録等

V. 学会等での受賞

VI. 国際学会等招待講演

VII. 外部資金の導入実績：名称、研究課題名、期間、金額、代表・分担の別

VIII. 教育実績

IX. 社会貢献等の実績

X. その他：資格等

(3) これまでの研究の概要と今後の研究に関する抱負（1,500字以内）

(4) これまでの教育の実績と今後の教育に関する抱負（1,500字以内）

（教育実績のない場合は、今後の教育に対する抱負）

(5) 上記（1）～（4）については、印刷物と共に、これらのWordファイルおよびPDF  
ファイルを保存したCD-ROMまたはUSBメモリー

(6) 主要論文の別刷またはその写し（5編）、およびそれらのPDFファイル（（5）の  
CD-ROMまたはUSBメモリーに保存）

(7) 推薦書

自薦の場合：自薦書および応募者の教育・研究などについて問い合わせのできる方  
2名の氏名および連絡先

他薦の場合：推薦書（1通）

(8) 書類の（1）と（2）は下記URLの様式により作成願います。

[https://share.iii.kyushu-u.ac.jp/public/NjHMgALJjoFA\\_n4B9Utk77QWt2RuLVh6pAR5cFCMYsTd](https://share.iii.kyushu-u.ac.jp/public/NjHMgALJjoFA_n4B9Utk77QWt2RuLVh6pAR5cFCMYsTd)

## 7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

## 8. 提出締切および方法

平成30年8月31日（金）正午必着、受付を証明できる方法（書留、宅配便等）によること。

## 9. 提出書類送付先

〒811-2307 福岡県糟屋郡粕屋町大字原町 111

九州大学農学部附属農場内

農業生産生態学分野准教授候補者選考委員会

事務局 望月俊宏

電話：092-612-2865、E-mail：mochizuki@farm.kyushu-u.ac.jp

## 10. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います。
- (2) 九州大学では「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- (3) 大学院農学研究院、大学院生物資源環境科学府、農学部の教育研究の概要等は、次のホームページをご参照下さい。 URL: <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>
- (4) 応募書類は返却しません。なお、提出頂いた書類に含まれる個人情報は選考以外の目的には使用しません。
- (5) 給与等についての規定および問い合わせ先：  
国立大学法人九州大学職員給与 (<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/616/1/2004syuki014.pdf>)  
問い合わせ先:九州大学農学部庶務係 (E-mail: [nosyomu2@jim.kyushu-u.ac.jp](mailto:nosyomu2@jim.kyushu-u.ac.jp))
- (6) 勤務先は、九州大学農学部附属農場（福岡県糟屋郡粕屋町大字原町111）ですが、農学部は平成30年前期に伊都キャンパスへの移転を完了し、10月から伊都キャンパスで開講するため、授業等で伊都キャンパスに行くことがあります。また、附属農場も平成32年度には伊都キャンパスへの移転が予定されています。